



科研費 申請書の 赤ペン 添削 ハンドブック

CONTENTS

はじめに	002
本書の構成・利用法	004

1章 総論

▶ 申請書全体から受ける「わかりにくい」印象を改善するにはどうしたらよいか。まずはそこから解説する。

case01 これで完成！？文章が下手で申請書の内容が頭に入ってこない	011
case02 「目的」がわかりにくい	015
case03 図がわかりにくい	019
case04 箇条書き表記の種類が多すぎてわかりにくい	023
case05 概要と本文で研究項目の数が揃っていない	027
case06 美しくない申請書は読む気になれない（1）	031
case07 美しくない申請書は読む気になれない（2）	035

2章 研究目的（概要）

▶ 2～5章では、申請書のコアとなる「研究目的」「研究計画・方法」欄のプラッシュアップのポイントを解説する。それぞれの欄の概要部分（破線より上）の書き方に苦労する人が多いので、「～（概要）」とあえて章立てして解説した。

case08 必要な内容が十分に書かれておらずわかりにくい（1）	041
case09 概要とはいえ中身に乏しく具体的でない（1）	047
case10 「背景」の記述が十分でなく解決すべき課題をつかみにくい	051

case11	「目的」「背景」が分断されてわかりにくい（1）	055
case12	唐突なはじまりで読みにくい	059
case13	研究のキーワードが埋もれて重要度が伝わってこない（1）	063
case14	一文が長くて読みにくい	067
case15	概要を概要として書いておらず読みにくい（1）	071
case16	概要を概要として書いておらず読みにくい（2）	075
case17	「目的」が埋もれていて見つけにくい	079
case18	科研費の目的としてふさわしいか（1）	083

3章 研究目的

case19	「①研究の学術的背景」の解説が長すぎてわかりにくい	087
case20	「①研究の学術的背景」に一般的な情報がなくわかりにくい	091
case21	「②何をどこまで明らかにするのか」がわかりにくい	095
case22	「③当該分野における本研究の～」がわかりにくい	099
case23	研究能力がアピールされていない	103
case24	「検証する」「開発する」だけでは目的としては不十分	107
case25	具体的に何を指しているかがわからない	111
case26	指示代名詞が何を指しているのかわかりにくい	115
case27	強調したい部分が目立たない	119
case28	「目的」「背景」が分断されてわかりにくい（2）	123
case29	簡潔に書かれすぎて内容がわかりにくい	127
case30	研究項目が多すぎて何をしたいかが散漫に見える	131
case31	この研究ならではの特色がわかりにくい（1）	135
case32	「独創的」という表現を安直に使っている	139
case33	表現が控えめすぎて実現できるのか不安	143

case34 科研費の目的としてふさわしいか（2）	147
case35 科研費の目的としてふさわしいか（3）	151

4章 研究計画・方法（概要）

case36 必要な内容が十分に書かれておらずわかりにくい（2）	155
case37 方法論は具体的なのにわかりにくい	159
case38 概要とはいえ中身に乏しく具体的でない（2）	161
case39 概要を概要として書いておらず読みにくい（3）	163
case40 概要なのに内容が多すぎる	167
case41 概要なのに余分なスペースがある	171

5章 研究計画・方法

case42 内容が少なすぎる	175
case43 年度ごとに計画の詳細しか書かれていない	179
case44 研究項目ごとに計画の詳細しか書かれていない	183
case45 回りくどい表現、なくてもよい表現がある（1）	187
case46 具体的に何を指しているかがわからない（理系の例）	189
case47 具体的に何を指しているかがわからない（文系の例）	193
case48 アンケート調査やプログラム作成の内容がないのでイメージできない	197
case49 データ分析が種類だけで内容がないのでイメージできない	205
case50 論文発表・学会発表・本の刊行は研究計画や方法としてふさわしいか	209
case51 たくさんの項目を文章だけで説明しようとしていてわかりにくい	211
case52 この研究ならではの特色がわかりにくい（2）	215
case53 研究項目ごとの「予想される結果と意義」がなく概要がつかみにくい	219

case54 なぜ海外調査が必要なのかがあいまい	223
case55 締めの言葉がなく内容が印象に残らない	225
case56 研究のキーワードが埋もれて重要度が伝わってこない（2）	229
case57 前欄に戻らないと記号や略語の意味を確認できない	231
case58 計画通りに進まないときの対応を考えていない印象を受ける	235
case59 誰に相談するかがあいまい	239
case60 (若手研究)「本研究を遂行するうえでの具体的な工夫」が書かれていません	243

6章 その他

▶「研究経費」など加点はないが減点はある欄のポイントや、どの欄でも当てはまる注意事項を解説する。特に後者に関するアドバイスは、審査委員のことをよく考えた申請書にするためのテクニックになります。

case61 「準備状況および発信する方法」で独りよがりな表現が目につく	247
case62 「研究経費」に必要性が書かれていません	251
case63 「人権の保護及び法律等の遵守への対応」が中身に乏しく具体的でない	255
case64 強調スタイルがいくつもありどこが重要かわからない	259
case65 図や画像が何を示しているのかわからない	261
case66 写真が不明瞭で意図がよくわからない	265
case67 図表の文字が小さくて読みにくい	267
case68 論文から流用された図は申請書ではわかりにくい	271
case69 回りくどい表現、なくてもよい表現がある（2）	275
case70 主観的な表現、刺激する表現が目につく	279
case71 略語の種類が多すぎて把握できない	283
case72 なぜ最新あるいは流行の機器を使うかがあいまい	287
case73 時事問題への配慮が足りない	289

case74 表記が異なっており同じものを指すか違うものを指すかがあいまい	291
case75 「関連性」「関係」をもつものは何かがあいまい	293
case76 「AとBを用いて、CとDを行う」はわかりにくい	295
case77 雜なレイアウトで整った感じがしない	299
case78 不適切な接続詞を使っている	303
補 遺：「申請書を書く、添削する」基本	306
付録1：セルフチェックリスト	310
付録2：インデックス別アドバイス一覧	312
付録3：申請分野別関連case早引きリスト	320
索引	322

申請者のギモン

1 ひらがなと漢字	014	16 図の情報の向き	186
2 フォント	038	17 成果の公開	204
3 長い語句	046	18 学会参加	208
4 外来語	066	19 わかりやすい図に その1	214
5 模式図か計画表か	070	20 わかりやすい図に その2	218
6 リバイス中, in press	102	21 わかりやすい図に その3	222
7 図の配置 その1	118	22 わかりやすい図に その4	234
8 図の配置 その2	122	23 雇うという記述	238
9 行間	138	24 成果の発信法	250
10 (続)行間	142	25 強調 その1	254
11 図の解像度	146	26 強調 その2	258
12 タイトル風	158	27 強調 その3	270
13 フォントの大きさ	170	28 強調 その4	274
14 (続)フォントの大きさ	174	29 スペースがないとき	286
15 見出しの工夫	182	30 字下げ	298